

2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月22日

上場会社名 SEホールディングス・アンド・インキュベーションズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9478 URL http://www.sehi.co.jp
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）速水 浩二
 問合せ先責任者（役職名）執行役員 経営企画部部長（氏名）松村 真一（TEL）03-5362-3700
 半期報告書提出予定日 2026年11月5日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	3,434	△0.5	752	93.9	762	148.8	516	154.8
2026年3月期中間期	3,452	△4.3	388	△16.8	306	△37.2	202	△36.6

（注）包括利益 2027年3月期中間期 1,446百万円（ 16.9%） 2026年3月期中間期 1,237百万円（ 338.5%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	34.15	34.01
2026年3月期中間期	12.57	12.53

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	20,085	12,430	61.9
2026年3月期	18,690	11,233	60.1

（参考）自己資本 2027年3月期中間期 12,430百万円 2026年3月期 11,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2027年3月期	—	0.00			
2027年3月期（予想）			—	4.00	4.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	6,700	△4.7	1,100	15.2	1,000	24.4	700	10.5

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期中間期	16,284,226株	2026年3月期	16,284,226株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	1,353,409株	2026年3月期	995,009株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	15,134,139株	2026年3月期中間期	16,133,320株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、所得環境の改善や企業収益、設備投資などの改善・持ち直しを背景に穏やかな回復基調が続いたものの、中東や欧州などの不安定な国際情勢やそれに伴う物価の上昇や金融資本市場の変動などにより、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当中間連結会計期間における連結業績につきましては、売上高3,434百万円(前年同期比0.5%減)、営業利益752百万円(前年同期比93.9%増)、経常利益762百万円(前年同期比148.8%増)、親会社株主に帰属する中間純利益516百万円(前年同期比154.8%増)となりました。

セグメント別の業績については以下の通りであります。

出版事業におきましては、紙書籍売上が若干持ち直しイベント売上も順調に推移したこと、また市場に合わせた構造改革を推進した結果、売上高1,739百万円(前年同期比11.0%減)、セグメント利益(営業利益)219百万円(前年同期比2.1%減)となりました。

コーポレートサービス事業におきましては、受注の質の見直しを行ったこと及びコスト削減効果が示現したことなどから、売上高261百万円(前年同期比13.9%減)、セグメント利益(営業利益)4百万円(前年同期はセグメント損失22百万円)と減収増益となりました。

ソフトウェア・ネットワーク事業におきましては、開発市場の変化などによりソリューション事業が引き続き軟調に推移したことから、売上高294百万円(前年同期比31.4%減)、セグメント損失(営業損失)2百万円(前年同期はセグメント利益35百万円)となりました。

教育・人材事業におきましては、医療関連人材紹介事業売上が順調に推移したものの、IT人材研修事業売上が引き続き軟調に推移したことに加えて人材コストなどの増加もあり、売上高476百万円(前年同期比9.3%減)、セグメント利益(営業利益)64百万円(前年同期比44.0%減)となりました。

投資運用事業におきましては、安定的な投資運用量増加に伴う配当金収入の増加に加え、割高となっている保有株の一部売却を進めたことを主因に、売上高662百万円(前年同期比175.9%増)、セグメント利益(営業利益)595百万円(前年同期比219.0%増)と大幅増収増益になりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、営業投資有価証券1,492百万円増加、現金及び預金220百万円増加、並びに受取手形、売掛金及び契約資産286百万円減少を主因に、前連結会計年度末比1,394百万円増の20,085百万円となりました。負債については、繰延税金負債445百万円増加、流動負債その他143百万円減少、及び有利子負債83百万円減少を主因に、前連結会計年度末比197百万円増の7,654百万円となりました。純資産については、その他有価証券評価差額金929百万円増加、利益剰余金455百万円増加、及び自己株式の取得による191百万円減少を主因に、前連結会計年度末比1,197百万円増の12,430百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、3,166百万円と前連結会計年度末比220百万円の増加(前年同期は51百万円の減少)となりました。

営業活動の結果得られた資金は574百万円(前年同期は使用した資金70百万円)となりました。収入の主な内訳は税金等調整前中間純利益761百万円であり、支出の主な内訳は営業投資有価証券の増加139百万円であります。

投資活動の結果使用した資金は26百万円(前年同期は得られた資金21百万円)となりました。収入は敷金及び保証金の回収による収入2百万円であり、支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出27百万円であります。

財務活動の結果使用した資金は324百万円(前年同期比320百万円減少)となりました。収入は長期借入れによる収入300百万円であり、支出の主な内訳は自己株式の取得による支出203百万円、長期借入金の返済による支出183百万円、及び短期借入金の純減164百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想は、2026年10月19日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,986	3,207
受取手形、売掛金及び契約資産	1,579	1,293
営業投資有価証券	11,718	13,210
商品及び製品	529	533
仕掛品	183	125
その他	233	221
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	17,229	18,591
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	777	796
減価償却累計額	△473	△458
建物及び構築物(純額)	304	338
土地	775	775
その他	243	251
減価償却累計額	△214	△215
その他(純額)	28	36
有形固定資産合計	1,108	1,149
無形固定資産		
その他	29	23
無形固定資産合計	29	23
投資その他の資産		
投資有価証券	121	129
敷金及び保証金	30	27
繰延税金資産	74	67
その他	101	101
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	323	321
固定資産合計	1,460	1,494
資産合計	18,690	20,085

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	334	282
1年内償還予定の社債	20	20
短期借入金	2,420	2,290
未払法人税等	159	196
賞与引当金	65	47
役員賞与引当金	10	8
その他	876	732
流動負債合計	3,886	3,578
固定負債		
社債	370	360
長期借入金	800	856
役員退職慰労引当金	138	144
退職給付に係る負債	437	446
繰延税金負債	1,815	2,260
再評価に係る繰延税金負債	7	7
その他	1	0
固定負債合計	3,571	4,076
負債合計	7,457	7,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,534	1,534
資本剰余金	45	49
利益剰余金	5,556	6,011
自己株式	△355	△547
株主資本合計	6,780	7,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,436	5,365
土地再評価差額金	16	16
その他の包括利益累計額合計	4,452	5,382
純資産合計	11,233	12,430
負債純資産合計	18,690	20,085

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
売上高	3,452	3,434
売上原価	1,817	1,522
売上総利益	1,634	1,911
販売費及び一般管理費	1,246	1,159
営業利益	388	752
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	0	0
投資有価証券売却益	2	-
為替差益	-	23
古紙売却収入	0	0
その他	1	2
営業外収益合計	6	31
営業外費用		
支払利息	17	20
社債発行費	2	-
支払保証料	0	0
為替差損	65	-
その他	2	0
営業外費用合計	88	21
経常利益	306	762
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前中間純利益	306	761
法人税、住民税及び事業税	91	224
法人税等調整額	12	21
法人税等合計	103	245
中間純利益	202	516
親会社株主に帰属する中間純利益	202	516

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
中間純利益	202	516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,034	929
その他の包括利益合計	1,034	929
中間包括利益	1,237	1,446
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,237	1,446
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	306	761
減価償却費	28	27
為替差損益(△は益)	63	△22
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△28	△17
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△25	△2
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5	6
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△0	8
投資有価証券売却損益(△は益)	△2	-
固定資産除却損	0	0
社債発行費	2	-
受取利息及び受取配当金	△2	△4
支払利息	17	20
売上債権の増減額(△は増加)	231	286
棚卸資産の増減額(△は増加)	△21	53
仕入債務の増減額(△は減少)	△49	△52
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△389	△139
未払金の増減額(△は減少)	△30	△31
前受金の増減額(△は減少)	△34	△40
前払費用の増減額(△は増加)	△4	△12
未収入金の増減額(△は増加)	△12	1
未払消費税等の増減額(△は減少)	11	△36
未収消費税等の増減額(△は増加)	0	-
その他	△22	△32
小計	42	774
利息及び配当金の受取額	3	4
利息の支払額	△13	△21
法人税等の支払額	△111	△184
法人税等の還付額	8	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	△70	574

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4	△27
無形固定資産の取得による支出	-	△2
投資有価証券の売却による収入	2	-
長期貸付金の回収による収入	20	-
敷金及び保証金の回収による収入	2	2
預り保証金の受入による収入	1	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	21	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	71	△164
長期借入れによる収入	399	300
長期借入金の返済による支出	△194	△183
社債の発行による収入	97	-
社債の償還による支出	△120	△10
リース債務の返済による支出	△1	△0
自己株式の取得による支出	△200	△203
配当金の支払額	△56	△61
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3	△324
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△51	220
現金及び現金同等物の期首残高	2,646	2,946
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,595	3,166

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年6月22日開催の取締役会決議に基づき、事後交付型株式報酬として自己株式の処分を行い、この処分により資本剰余金は4百万円増加し、自己株式は11百万円(30,900株)減少いたしました。また、2026年5月8日及び2026年7月23日開催の各取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行い、この取得により自己株式は86百万円(164,600株)及び117百万円(224,700株)各々増加いたしました。この結果、当中間連結会計期間末において、資本剰余金は49百万円、自己株式は547百万円(1,353,409株)となりました。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	出版	コーポ レート サービス	ソフト ウェア・ ネット ワーク	教育・ 人材	投資運用	計		
売上高								
顧客との契約から生じる収益	1,953	304	429	524	—	3,212	—	3,212
その他の収益	—	—	—	—	240	240	—	240
外部顧客に対する売上高	1,953	304	429	524	240	3,452	—	3,452
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	0	0	—	—	21	△21	—
計	1,973	304	430	524	240	3,473	△21	3,452
セグメント利益又は損失(△)	223	△22	35	115	186	538	△150	388

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△150百万円には、セグメント間の内部取引消去43百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△193百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	出版	コーポ レート サービス	ソフト ウェア・ ネット ワーク	教育・ 人材	投資運用	計		
売上高								
顧客との契約から生じる収益	1,739	261	294	476	—	2,772	—	2,772
その他の収益	—	—	—	—	662	662	—	662
外部顧客に対する売上高	1,739	261	294	476	662	3,434	—	3,434
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	0	0	—	—	19	△19	—
計	1,757	261	295	476	662	3,453	△19	3,434
セグメント利益又は損失(△)	219	4	△2	64	595	882	△129	752

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△129百万円には、セグメント間の内部取引消去48百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△178百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。